

私立学校に対する北海道単独補助全廃の方針を改め、充実を求める意見書

北海道の私立高等学校と私立幼稚園は、国や道の援助を受けて、それぞれ公教育においてかけがえのない役割を果たしてきた。

ところが、北海道は財政困難を理由に、2006年度の予算編成に向けて、私立学校に対する単独補助を全廃とする方針を示している。

仮に全廃された場合、多くの私立学校が経営難に陥ることは必至であり、今でも高い私立学校の授業料及び保育料の更なる高騰と教育条件の悪化を招きかねない。

よって、北海道においては、公私の格差を拡大することなく、私立学校に通う子どもの教育を変わずに守るためにも、私立学校に対する単独補助の全廃方針を改め、私学助成を充実させるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成17年(2005年)12月13日

札幌市議会

(提出先) 北海道知事

(提出者) 全議員